全科共通科目　／　基礎教養科目群

授業科目

基礎ゼミ

担当教員名	対象学年	1	対象学科	全学科
各担当教員	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	○

授業の概要

少人数のグループに分かれ大学での生活や学習の仕方を学ぶとともに、スポーツ活動などを通して学科内の交流を深めていきます。また、大学での学習に必要な図書館の情報検索や大学生としてのマナーを身に付けます。さらに、興味あるテーマを選び、それについて自分/グループで調べたことをまとめゼミ内で発表します。

授業の目的

大学生活への適応とマナー、そして大学での学びの基礎を習得することを目的としています。学びの基礎では、興味・関心のある内容について必要な資料や情報を収集し、それをまとめ伝えていく力と、必要な事項や情報を記録し、相手に質問する"聴き手"としての能力を身に付けていきます。

学習目標

1．　必要な資料を収集し、情報検索を行うことができる。
2．　状況に応じた日本語を用い、自分の意見を適切に述べることができる。
3．　相手の意見を正しく理解するために、必要なことを記録することができる。
4．　自分の調べた内容を適切に発表することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考
1	実践行動学（Step １）　４月６日 水 （1～４限に実施）	学科グループ毎
2	〃	学科グループ毎
3	〃	学科グループ毎
4	〃	学科グループ毎
5	履修登録と履修方法の確認、履修相談	学科毎
6	教員－学生交流会	ゼミ毎
7	オリエンテーション、自己紹介、アイスブレーキング	ゼミ毎
8	学科の授業の特色と資格取得（将来への意欲付け）（※「将来のキャリアデザイン」を含む）	ゼミ毎
9	大学での学びと大学生のマナー（※「対人マナー（メールマナー）」を含む） 保健・医療・福祉の今日的問題を話し合う（課題への意欲付け）（※「情報検索技能の活用」を含む）	ゼミ毎
10	レポートの書き方（※「レポート作成の不正行為」を含む）	ゼミ毎
11	ゼミ/各自のテーマの決定（図書館での書籍閲覧）、メールによるテーマ報告（メールマナーの実践）	ゼミ毎
12	ゼミ/各自のテーマに沿った活動（図書館等を活用した情報収集）	ゼミ毎
13	ゼミ/各自のテーマに沿った活動（※「プレゼンテーション技法」を含む）	ゼミ毎
14	ゼミ/各自のテーマに沿った活動の発表準備	ゼミ毎
15	ゼミ内での発表、まとめ	ゼミ毎
	備考 １．上記の授業回数は授業の順序を示すものではない。 ２．各学科で共通の指導計画が整備されている場合は、それに則って行う。その場合でも※印の内容は含むものとする。	

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	実践行動学　（Step1）	実践行動学研究所	株式会社ウィネット			
参考書	知へのステップ（改訂版）	学習技術研究会編	くろしお出版	2006年	1,800円	
その他の資料	必要に応じて配布する					

評価方法

ゼミへの貢献度、討議への積極的参加、課題遂行への貢献などを評価する

履修上の留意点

　学生には活動に積極的に参加し、考え、発言する態度が求められる。
また、「夢を語る会」「私の夢」の発表（６月７日(水)３限：予定〉に必ず参加すること。

オフィスアワー・連絡先

第1回目の講義時に担当教員に確認すること。